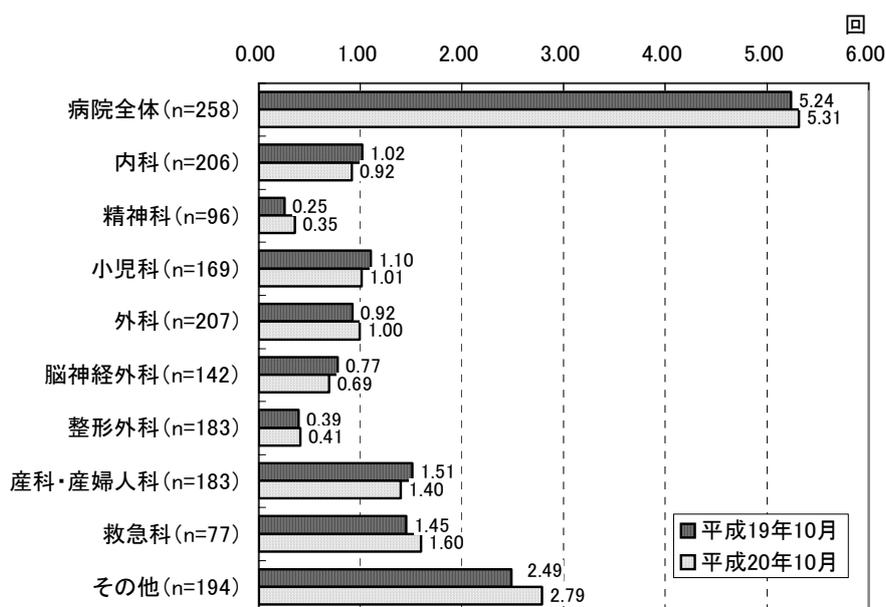


3) 連続当直合計回数

平成 20 年 10 月における診療科別 1 か月あたり連続当直合計回数（常勤医師）についてみると、「病院全体」では 5.31 回、「内科」では 0.92 回、「精神科」では 0.35 回、「小児科」では 1.01 回、「外科」では 1.00 回、「脳神経外科」では 0.69 回、「整形外科」では 0.41 回、「産科・産婦人科」では 1.40 回、「救急科」では 1.60 回であった。最も多かったのは「救急科」で、次いで「産科・産婦人科」、「小児科」、「外科」となり、これらの診療科では連続当直合計回数の平均は 1 回を超えた。

平成 19 年 10 月と比較して増加となった診療科は「救急科」（増加分 0.15 回）、「精神科」（同 0.1 回）、「外科」（同 0.08 回）、「整形外科」（同 0.02 回）であったが、いずれも微増であった。

図表 33 診療科別 1 か月あたり連続当直合計回数（常勤医師）



(注) ・平成 19 年 10 月および平成 20 年 10 月とも記載のあった診療科医師全体の連続当直の合計回数を対象とした。
 ・ n は施設数である。